

Press Release

## 501社が出展！「インテリア ライフスタイル」まもなく開催

東京ビッグサイトで6月1日から3年ぶりに開催

メッセフランクフルト ジャパン株式会社(代表取締役社長:梶原靖志)は、2022年6月1日(水)ー3日(金)の3日間、第30回「インテリア ライフスタイル」を東京ビッグサイト西展示棟にて開催します。衣・食・住のすべてとインテリア・デザイン市場をつなぐ本見本市は、商材やデザインを探す小売店バイヤー、インテリアデザイナー、建築や設計に携わる来場者に「リアル」でのコミュニケーションの場、商談の場を提供します。新型コロナウイルス感染拡大の影響により3年ぶりの開催となる本見本市には、4月22日現在で12カ国・地域から501社が出展します。



左:「インテリア ライフスタイル」2022のキービジュアル、右:2021年10月に開催された姉妹見本市の様子

### ■商材カテゴリーやテーマに合わせたプロダクツがゾーンごとに展示

デザイン性、機能性に優れた衣食住に関連するインテリア雑貨や生活用品を中心に、人権や環境、社会に配慮されて作られた持続可能なプロダクツ、新しい生活様式や空間を演出するさまざまな商材や素材たちがカテゴリーごとにゾーニング、展示されます。

<b>HOME</b>	新たな住まいのスタイル提案	家具、照明、テキスタイル、インテリア、建築部材など
<b>ACCENT</b>	暮らしに新たなアクセントを	デザイン雑貨、ギフト、文具、フレグランス、服飾雑貨など
<b>KITCHEN LIFE</b>	食卓から料理まで	テーブルウェア、キッチンツール、調理器具など
<b>EVERYDAY</b>	豊かな暮らしの生活用品	収納、掃除、ランドリー、バス・トイレ用品、生活家電など
<b>ETHICAL</b>		環境、人・社会、地域に配慮した商材
<b>JAPAN STYLE</b>		日本の伝統技術とデザインが融合したテーブルウェアなど
<b>MOVEMENT</b>		国内外の最新デザインプロダクト
<b>FOODIST</b>		お茶、珈琲、こだわりのギフト食材など
<b>TALENTS / NEXT</b>		若手デザイナーや新規ブランド、プロトタイプなど
<b>-JEWELRY-selected by New Jewelry</b>		New Jewelry による選りすぐりのジュエリーブランド

## ■アトリウム特別企画「Blooming」

建築設計事務所 SUPPOSE DESIGN OFFICE の谷尻誠氏と吉田愛氏をディレクターに迎えた今回のアトリウム特別企画のテーマは「Blooming」。谷尻氏と吉田氏による輝くような空間デザインの中に出品審査をクリアした 28 社が各社の世界観を展開します。壁を飾る額装、花器、フレグランス、ブランケット、食器、珈琲など、働く時間や暮らす時間を含めた「おうち時間」を充実させるデザインや機能を備えた「気分をアゲル」商材と来場者の出会いを演出します。

## ■Meet Design 商品化を叶えるデザイン力に出会う場所

西 2 ホール ACCENT 内の Meet Design には優れたデザイン力と提案力を武器にファブレスメーカー 24 社が出展。各社がこれまでに手掛けたプロダクトが展示されるとともに、商品開発を模索する企業、地方自治体、産地との出会いの場を創出します

## ■BESPOKE MATERIALS JAPAN 豊かな空間を演出する素材たち

日本の伝統、匠の技と加工技術の融合から生まれた様々な素材を世界に向けて発信することを目的にローンチされたビジョンマーケティング主宰の「BESPOKE MATERIALS JAPAN」。2021 年 10 月に開催されたインテリア ライフスタイルの姉妹見本市「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」で日本国内初出展を果たしました。今回も本見本市を舞台に西 1 ホール HOME 内に 6 社が出展します。国内外の建築家やインテリア、家具メーカーを対象に、豊かな空間を演出するさまざまなプレミアム素材を提案します。

## ■新しい生活様式、デザインの今がわかるトークショー LIFESTYLE SALON@アトリウム

### ・6月1日(水)14:00-15:00 スノーピークが提案する「野遊びのできる暮らし方」

アウトドア大手のスノーピークが、衣食住や「働く」「遊ぶ」といった生活領域にアウトドア要素を取り入れることを提案しています。特に「住」の提案はこれからの私たちの暮らし方に大切なヒントを与えてくれます。

### ・6月1日(水)16:00-17:00 自然とつながる空間デザイン

SUPPOSE DESIGN OFFICE の谷尻誠氏、吉田愛氏、商店建築 副編集長の車田創氏によるトークセッション。コロナ禍を経て、場所や時間にとらわれない働き方や暮らし方が当たり前になった今、これからの生活に必要なとされる自然と建物の関わり合いについて探ります。

### ・6月2日(木)16:00-17:00 地方とデザインーおでかけクリエイティブナイト #11ー

日本各地の「長く続くその土地らしさ」を発掘、紹介している D&DEPARTMENT PROJECT のナガオカケンメイ氏と「ブランディングデザインで日本を元気にする」というコンセプトのもと、企業のブランド開発、商品開発、店舗開発など幅広いジャンルでデザイン活動に携わる、エイトブランディングデザインの西澤明洋氏によるトークセッション。地方におけるデザインの活用法や可能性について考えます。

### ・6月3日(金)14:00-15:00 アップサイクルって何？02

国際社会共通の目標として定着した SDGs への取り組みが特別なことではなくなり、消費者の意識や価値観が大きく変化しています。環境意識が高まり、商品開発にサステナブルな視点を持つことが欠かせない今、アップサイクルは大きな可能性を秘めています。その成功の秘訣は、素材の持つ力や価値を引き出すデザイナーや建築家の豊かな発想と企業のコラボレーションです。石巻工房でも注目を集める建築家 芦沢啓治氏をディレクターに迎え、ケイミュー(株)の藤田新次氏、カリモク家具(株)の加藤洋氏がアップサイクルについて語ります。

## ■ピックアップ出展者



### 錦城護謨(株)／KINJO JAPAN

創業 85 年の歴史を誇るゴム製品のメーカー。2020 年に初のオリジナルブランド「KINJO JAPAN」を立ち上げ、手に取るまではシリコンゴムできているとは気づかない程の完成度を誇るグラスを開発し B to C 事業に着手しています。



### KIKIME/amime シリーズ

暮らしに「効き目」をもたらすモノづくりブランド。陶器は日本一の陶磁器産地の岐阜県土岐市で、純金メッキと黒酸化加工されたステンレス製の金属網は金属加工で有名な新潟県燕市でつくられています。



**(有)丸嘉小坂漆器店／帯輪トレイ**

木工と漆硝子の技術を融合させたトレイ。曲げ物には木曾の檜を使用し、硝子面には帯状に重なる透き漆のパターンを施しました。自然木の質感、漆が持つ本来の透明感や重なりのおもしろさをお楽しみいただけます。



**(株)ヌースプロジェクト／トレノ**

無垢材の重厚感に、張りぐるみの柔らかいプロポーションを融合したローソファ。本体のバランスに合わせてサイズを調整した背クッションは、たっぷりとフェザーを充填して厚みを出しています。



**(株)チップス／SAI**

美濃地方は日本一の陶磁器産地ですが、不良品や破損品など多くの「陶片」も存在します。SAIは、原料の約20%に自社不良品を砕いた再生土を使用しています。製品として世に出ることがなかった「陶片」がテーブルを彩ります。



**エーワイ(株)／LOQI エコバッグ**

世界中のアーティストの作品をLOQIがエコバッグにアレンジ。この作品はタイの女性アーティストポム・チャンのThai Floral。バッグの素材は、再生ポリエステルを使用しています。

「インテリア ライフスタイル」に関する最新情報は、以下にてご確認ください。

公式サイト：[www.interior-lifestyle.com](http://www.interior-lifestyle.com)

公式インスタグラム：[www.instagram.com/interiorlifestyletokyo/](https://www.instagram.com/interiorlifestyletokyo/)

**■来場に関するお問合せ先**

インテリア ライフスタイル事務局

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

Tel 03-3262-8456 / [visit@interior-lifestyle.com](mailto:visit@interior-lifestyle.com)

**■報道関係者からのお問合せ先**

プレス担当：加来

Tel 03-3262-8453 / [press@japan.messefrankfurt.com](mailto:press@japan.messefrankfurt.com) / [www.jp.messefrankfurt.com](http://www.jp.messefrankfurt.com)

**メッセフランクフルトについて**

メッセフランクフルトは、800年以上にわたり見本市会場として親しまれるドイツ・フランクフルト市に本社を構える世界最大級の国際見本市主催会社です。約40万平方メートルの見本市会場を自社で所有し、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。グループ全体で世界中に30の拠点と約2,300\*人の従業員を有し、2019年の売上高は過去最高の7億3,600万ユーロを記録しましたが、新型コロナウイルスの影響を受けた2021年は約1億4,000万\*ユーロの売上高になる見込みです。コロナ禍の厳しい状況の中でも、グローバルネットワークを活かして各業界と密接な関係を保ち、顧客のビジネス拡大に貢献しています。また、新たなビジネスモデルとしてデジタル事業の構築にも注力しています。見本市主催事業以外にも会場の貸出、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングなど、幅広いサービスを提供し、顧客のニーズに合わせてビジネスをサポートしています。より詳細な情報は公式ウェブサイトをご覧ください。[www.messefrankfurt.com](http://www.messefrankfurt.com)

\*2021年暫定数値